

繋 谷地南部っ子

令和7年度 学校便り
R7. 9. 12
NO 13
校長 秋場 一憲



経営キーワード「言葉（言葉遣い・言語力）」・自立（自ら判断実践・協働的解決・新たな課題追究）」

子供たちの学力を一層向上させるために

昨年度から基礎基本の定着を最優先にした日々の授業改善の積み重ねにより、子供たちの目に見える学力（点数）のほか、話す・書くなどの力が着実に伸びてきています。そんな子供たちの学力を一層伸ばすために、学校研究全体会の中で2学期以降の具体的な取組みを話し合い、町教育委員会指導主事からも価値づけていただきました。

学校全体で、そして各学年・学級の実態に応じて下記の取組みを進めていきます。各ご家庭におかれましては家庭学習の中でお子さんの頑張りを認め励ましていただければ幸いです。



学校研究全体会で、町教育委員会よりご指導

【2学期以降の取組み（骨子）】

- 全教育活動の中で、3つのきく「聞く・聴く・訊く」力を高めていく。（担任よりきき方や交流のモデルを示しながら）
- 日常の授業改善の視点として、ゴールの姿を子供たちと共有すること、1時間のねらいを明確にしシンプルな授業を心がけること、問いかけを吟味すること、板書を整理し学びの足跡が見えるようにすること、書く・描く活動を充実させること等を重視する。
- 低・中・高学年に応じた家庭学習内容を取り入れるとともに、授業と家庭学習を効果的に繋ぐ。（授業で課題を示し家庭学習で調べる、eライブラリを積極的に活用し繰り返し復習する等）
- 近年の「子ども文庫」利用冊数の減少や、学年に応じた好ましい読書習慣が身につけていないという実態を踏まえ、毎週火・木曜日に朝読書に取り組みせるとともに、教科の関連図書の読書並びに選本指導を行う。

第3回校内授業研究会で学んだこと



仲間との交流

9月3日（水）に第3回校内授業研究会を実施し、5年担任 秋場悠斗 助教諭が、算数「整数の性質」の授業を提案しました。一袋に入っている本数の異なる鉛筆とキャップが同数になる場合を求める問題で、倍数と公倍数の考え方を用います。子供たちは、図に表す・表を書く・式で求めるなど、複数の方法で試行錯誤しながら解きました。また、仲間との意見交換で考えを深めることもできました。村山教育事務所指導主事より、子供たちの温かい関係性と考える力・書く力について高く評価いただきました。

【今後の授業改善の視点】

- ・生徒指導の視点を大切にすること。
- ・指導者の役割（繋ぎ役）を意識すること。
- ・「訊く」ことを大切に、確かな理解に繋げること。
- ・子供たちの考えの共有を大切にすること。



事後研究会で成果と課題を共有

教職員一人一人が輝く学校経営を目指して ～ 若手・新任教職員&町職員紹介 ～

昨年度の学校だよりで、若手教職員にスポットライトを当てシリーズ化して紹介しました。今年度は、若手教職員のみならず新任の教職員、そして日々の教育活動や環境整備等に力添えをいただいている町職員も紹介していきます。「教職員一人一人が持ち味や強みを発揮しながら職務にあたり、働き甲斐や生き甲斐を感じて欲しい。」「校長として、教職員の笑顔を輝かせ、一人一人の生き生きと働く様子を校内外に知らせることで励まし応援いただきたい。」そんな強い思いを込め、今号からシリーズ化し掲載していきます。ぜひお読みいただき、ご感想等をお寄せいただければ幸いです。

第1弾：初任研後補充 非常勤講師 真田伸夫 教諭

真田教諭には、2年担任の池田教諭が校内外で研修を行っている時間、担任に替わって授業を行っていただいています。受け持つ教科は、国語（言語事項）と図工です。図工の授業を行うにあたっては、事前準備をしっかりと行い、魅力ある素材を提供して子供たちの感性を豊かにするよう工夫しています。また、課題の投げかけを工夫し、子供たちの学習意欲を高めており、若手教員が学ぶべき点がたくさんあります。

また、「THAT MAKES SENSE」と題した独自のお便りを通して、子ども理解や授業づくりのポイント、ちょっとした工夫など大切なメッセージを発信いただいています。



【真田教諭から】

私が授業づくりで大切にしていることは、
「むずかしいことをやさしく」
「やさしいことをふかく」
「ふかいことをおもしろく」
まだまだ、子供たちと一緒に私自身も学びの日々です。
学校教育目標の「ふるさとを愛し、未来をしなやかに生き抜く谷地南部っ子の育成」に微力ながら、お手伝いさせていただいております。

大学生の先輩が教育サポーターとして来校！！

本校の卒業生である、東北文教大学1年生の秋場悠聖（はるき）さんが、教育サポーターとして9月1日（月）から22日（月）までの毎週月・水・金曜日にお手伝いいただいています。子供たちへの学習支援のほか、教材作りや環境整備など多岐にわたる仕事をがんばっています。「将来の夢は、小学校教員になること」とのこと。その夢の実現に向け、日々多くのことを吸収して欲しいと思います。

【秋場さんから】

今回、教育サポーターとして母校に戻り、授業観察や教材作りなどを非常に楽しく行わせていただいています。授業の展開や子供たちの学習の様子を観察し、将来教員となったときに自分ならどのように行動するのか、ということに常に意識しています。子供たちから元気をもらいながら、夢の実現に向けてがんばっていきたいと思います。

